



# 二国間クレジット制度 (JCM) 資金支援事業

## 1. プロジェクト補助

平成28年度要求額  
17,400百万円 (うち14,400百万円)  
(27年度予算額 : 7,200百万円 (うち5,400百万円))

### 背景・目的

- 優れた低炭素技術等を活かして、途上国が一足飛びに最先端の低炭素社会へ移行できるように支援し、アジア太平洋地域発の21世紀に相応しい新たなパラダイムとなる、物質文明からの脱却を目指す「環境・生命文明社会」を発信する。
  - 世界的な排出削減に貢献し、JCMクレジットの獲得を行う。
- <該当戦略>  
4. 優れた低炭素技術の海外展開を通じた世界全体の排出削減への貢献

### 事業概要

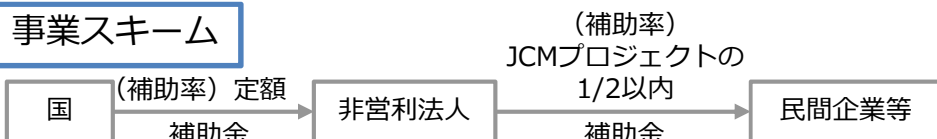
以下の事業により、JCMクレジットを獲得する。

(1) 設備補助 (10,800百万円)  
JCM導入が見込まれる途上国において、優れた低炭素技術等を活用したエネルギー起源CO2の排出を削減するための設備・機器の導入に対して補助を行う。

(2) JICA等連携プロジェクト補助 (3,600百万円)  
JICA等が支援するプロジェクトと連携するJCMプロジェクトのうち、CO2排出削減効果の高い事業を支援するための補助を行い、優れた低炭素技術の普及を図るとともに、従来よりも幅広い分野での低炭素化を推進する。

### 事業目的・概要等

### 事業スキーム



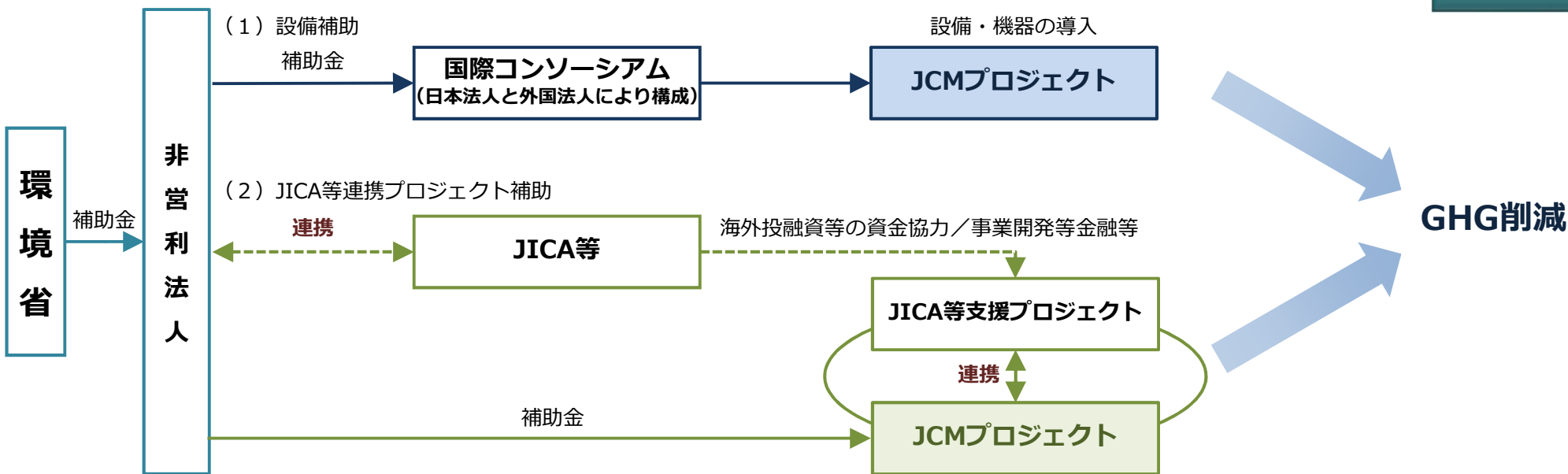
### 期待される効果

- 途上国において温室効果ガスが大幅に削減されるとともに、JCMを通じて我が国の排出削減に貢献する。
- 優れた低炭素技術等が海外へ普及する。

### <事業実施期間>

- (1) 設備補助 : 平成25年度～  
(2) JICA等連携プロジェクト補助 : 平成26年度～

### イメージ





# 二国間クレジット制度（JCM）資金支援事業

## 2. ADB拠出

平成28年度要求額  
17,400百万円（うち3,000百万円）  
（27年度予算額：7,200百万円（うち1,800百万円））

### 背景・目的

- 優れた低炭素技術を活かして、途上国が一足飛びに最先端の低炭素社会へ移行できるように支援し、アジア太平洋地域発の21世紀に相応しい新たなパラダイムとなる、物質文明からの脱却を目指す「環境・生命文明社会」を発信する。
- 世界的な排出削減に貢献し、JCMクレジットの獲得を行う。

<該当戦略>

4. 優れた低炭素技術の海外展開を通じた世界全体の排出削減への貢献

### 事業スキーム

拠出先：アジア開発銀行信託基金

事業実施期間：平成26年度～

### 事業概要

導入コスト高からADBのプロジェクトで採用が進んでいない優れた低炭素技術の採用を促進するため、ADBの信託基金により追加コストを支援する。

これにより、一足飛びの低炭素社会への移行につなげるとともに、削減分についてJCMでのクレジット化を図る。

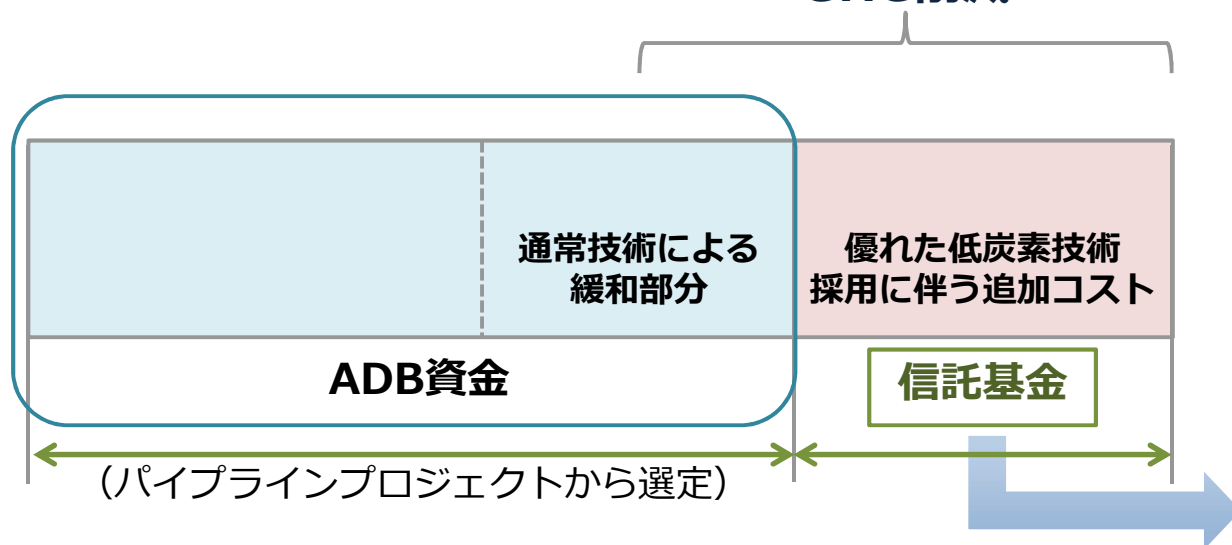
### 期待される効果

- ADBプロジェクトで、優れた低炭素技術の採用が促進される。
- 途上国において温室効果ガスが大幅に削減されるとともに、JCMを通じて我が国の排出削減に貢献する。

### 事業目的・概要等

## GHG削減

## イメージ



JCMプロジェクトに対する無償資金の供与に加え、民間プロジェクトへの譲許的融資やツーステップ・ローン等にも活用